

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回福津市観光産業活性化協議会	
開催日時	令和6年3月26日（火）午後3時00分～午後5時00分	
開催場所	福津市立図書館 2階 研修室1	
委員名	（1）出席委員 永松毅文 増田美佐子 浄見譲 森田誠 佐藤聡 藤田裕美子 山口尚志 （2）欠席委員 塩川浩一 小役丸秀一 黒田伸太郎	
所管課職員職氏名	経済産業部長 増田恭治 観光振興課長 宮原栄介 商工振興課長 梶原龍生 観光振興係長 波多野哲平 観光振興係 花田智美	
会 議	議 題 （内 容）	1. 開会 2. 会議録の作成方針の決定 3. 議事 （1）前回の振り返り （2）本協議会の予定について （3）観光情報の共有に係る課題と今後について （4）観光情報の発信に係る課題と今後について （5）次回へ向けて 4. その他 5. 閉会
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	3 名
	資料の名称	資料1 福津市観光産業活性化協議会 議事予定 資料2 事前アンケート（集計結果） 資料3 福津市の観光情報の発信に関する 主なウェブサイト及びSNS
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	記録内容の確認方法 会長が指名する委員による確認	
その他の必要事項	オブザーバーとして参加3名 ・（一社）ひかりのみちDMO福津 理事 池本裕之、事業本部長 中村留美 ・（一社）ふくつ観光協会 百田幸子	

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開会

2. 会議録の作成方針の決定

事務局 : 福津市附属機関の会議の公開に関する要綱、福津市会議録作成要綱について説明。

決定事項: 会議の公開。事務局により会議録案を作成し、委員による確認の上で会議録の完成とする。

永松会長: 出席委員のうち、佐藤委員及び森田委員に会議録の確認依頼をすることの提案。

決定事項: 会議録の確認は、佐藤委員及び森田委員とする。

3. 議事

(1) 前回の振り返り

(事務局) 令和5年度第1回福津市観光産業活性化協議会の議事概要、現任期を通じて協議するテーマが「情報の共有」及び「情報の発信」に決定したことを説明

(永松会長) 委員の皆様は、ご意見などありませんか。

(全委員) (異議なし)

(2) 本協議会の予定について

(事務局) 「資料1 福津市観光産業活性化協議会 議事予定」に基づき説明

(永松会長) 今後の予定について、資料の通りに進めていこうと思っておりますが、皆様よろしいでしょうか。ご質問などありませんか。

(全委員) (異議なし)

(3) 観光情報の共有に係る課題と今後について

(4) 観光情報の発信に係る課題と今後について

(5) 次回へ向けて

(事務局) 「資料2 事前アンケート(集計結果)」に基づき説明

(永松会長) 本日の議事は(3)及び(4)がメインとなりますが、事前アンケートは各委員の皆様からご回答いただいておりますか。事務局いかがですか。

(事務局) 全員ではありませんが、ほぼ全員から回答いただきました。

(永松会長) まずは、皆様の回答を基に課題に関する共通認識を持てたらと思います。具体的にどんなことを課題に思うのか、どうしたらいいと思うのかについて、皆様からご意見をいただきたいと思っております。

(山口委員) 私はよく旅行をしますが、情報を得る際はSNSではなくテレビやインターネットを利用しています。私が観光客として福津市を訪れたいと思うとすれば、観光名所やイベント情報、交通アクセスやグルメなどの情報は一元化されていてほしいと思います。また、福津市は宿泊施設の少なさが欠点だと思います。

- (永松会長) 資料2によると、情報共有についての1番目の質問では、「b情報の新鮮さ」と「c情報の充実度(詳細さ)」の回答が多いです。無記名のため、それぞれの考えについて各委員からご意見を聞かせてください。
- (佐藤委員) 商工会では観光情報の収集や発信をしていますが、山口委員と同じく情報の一元化は非常に大事だと思います。観光客の立場では、一つの場所で情報が新鮮で充実していることが必要だと思います。
- (浄見委員) 情報共有は難しいことだと思います。宮地嶽神社へ多くの方に来てもらうために情報発信をしていますが、情報が新鮮なうちにすぐ届けることを意識して行っています。事業者間で情報提供することになれば新鮮さがなくなるため、各事業者が情報発信を行い、例えばDMOなどが大まかな情報を発信する二極化または二元化するのがいいと思います。
- (永松会長) まずは、福津市の観光情報の共有について、何が課題なのかについて皆様と共通認識を持てたらと思います。事前アンケートの情報共有に関する1番目と2番目の質問が、課題に関するものだと理解しています。課題について共通認識を持てた後に、望ましい状態に近づけるためにどうしたらいいのかについて、皆様からご意見をいただきたいと思います。他の委員の皆様はいかがでしょう。
- (森田委員) 福津の魚の良さを多くの方に伝えるためにお魚センターうみがめを運営していますが、他施設などの観光情報が分かればもっと多くの方に来てもらえると思っています。チラシなどを作成しても観光に関する団体が、観光協会とDMOの2つあるため、どちらに行けばより広まるのかなと疑問に思います。
- (永松会長) 2番目の質問の選択肢「c情報を網羅している団体や情報源(媒体)がない」や「d情報の提供先や問い合わせ先が分からない」がご意見の主旨ということでしょうか。
- (森田委員) はい。
- (永松会長) 皆様のご意見のキーワードは「一元化」になると思いますが、これは2番目の質問の選択肢「c情報を網羅している団体や情報源(媒体)がない」に含まれると思います。また、回答数では「c情報を網羅している団体や情報源(媒体)がない」、「d情報の提供先や問い合わせ先が分からない」、「f情報共有システムがない」が多いので、これらが具体的な課題だと思われます。他の委員の皆様はいかがでしょう。
- (藤田委員) 私は、充実度を選びました。福津市に来る方の年齢や目的は様々であるため、情報共有をしていけばその都度ニーズに合った情報を提供できると思います。先日、暮らしの旅という着地型観光のモニターを行いました。参加者からは「福津市の観光情報をもっと知りたかった。情報があればもっと楽しむことができた」という意見がありました。一元化された情報があれば、もっと情報を発信していくことができると思います。
- (増田委員) ふくつ観光協会に所属していますが、中にいても観光に関する似たような団体が2つあるので戸惑うことがあります。それぞ

- れが情報発信しており、他団体の情報は調べている状態のため、少なくとも直近1、2か月の情報を共有できるシステムがあるといいなと思います。ガイド会の立場としても、最新情報が入ってくるといいなと思います。
- (永松会長) 課題を確認するために皆様からご意見を伺いました。その課題に基づいて、ご意見の多くに出てきた「一元化」をどのように進めるのか議論していきたいと思います。
- (浄見委員) DMOと観光協会の情報発信が被っていて、どちらに言えばいいかわからないという意見がありましたが、情報の一元化をするためには、今後、DMOと観光協会のどちらが情報発信をするのか決めなければならないと思います。これを決めなければ、この議論はずっと続くと思います。
- (永松会長) 観光客の立場からすると、DMOと観光協会の情報が重複していることは困りませんが、情報に辿り着けないことは困る状態だと思います。この状態を整理する中で、どこが情報を発信すべきなのか等を決める必要は出てくると思います。これまでの意見をまとめると、2番目の質問の選択肢「c 情報を網羅している団体や情報源（媒体）がない」と「d 情報の提供先や問い合わせ先がわからない」からは、お客様が情報に辿り着きにくいという課題、「f 情報共有システムがない」からは、各事業者間で情報共有をする仕組みや場が欠けているという課題の2つがあると思いますが、皆様いかがでしょうか。
- (浄見委員) もっと事業者が参加しやすい方法や、一元化された情報を発信できる方法があればいいと思いますが、難しいですね。
- (山口委員) 色々なところに旅行をしましたが、インターネットで観光情報を調べると観光協会のホームページに辿り着きます。観光協会のホームページは一般的に辿り着きやすいと思います。
- (永松会長) 浄見委員や山口委員のご意見については、これからの手段についての議論で問題提起していただけたらと思います。改めて整理すると、「来ていただくお客様が情報を得るための分かりやすさに欠けていること」、「分かりやすさを作り出すために私たち事業者間で情報共有をする仕組みが欠けていること」が、私たちが抱えている課題で優先的に解決しないといけないことになると思います。
- これから、資料2の情報共有に関する質問の3番について議論を行おうと思いますが、次の情報発信に関する質問の1番目と2番目の課題は、情報共有に関する質問の回答と概ね同じ認識であると読み取れます。情報発信では、「f 媒体やターゲットに合わせた発信」が加わりますが、課題は共通であると捉え、これからの時間は望ましい状態や手段について考えていきたいと思います。改めて、事務局から資料2について説明をお願いします。
- (事務局) 「資料2 事前アンケート（集計結果）」に基づき説明
- (永松会長) 補足意見などがある方はいらっしゃいませんか。
- (山口委員) 観光大使を起用してSNSやテレビで情報発信することは即効性があると思います。熊本県の「くまモン」も観光大使に類するものとして参考になるとと思います。

- (永松会長) 他にご意見のある方はいらっしゃいませんか。
- (全委員) (意見なし)
- (永松会長) 情報共有において、事業者間で情報を積極的に送受信している状態が望ましいとのご意見が多くなっていますが、これを軸に進めてよろしいでしょうか。
- (全委員) (異議なし)
- (浄見委員) どこが情報を一本化し、どこが発信していくのかが大事だと思います。それぞれの団体がホームページなどで情報発信を行い、各ページへのリンクが貼られたサイトがあれば、分かりやすいホームページづくりや共有化ができると思います。そのサイトはDMOと観光協会のどちらでもいいと思いますが、ホームページは1つにした方がいいと思います。
- (永松会長) それぞれのホームページにリンクを貼って共有していくことが大事ということですね。
- (山口委員) リンクを貼っている観光地は多いと思います。
- (森田委員) 他県の観光地のホームページなどを参考にし、良いところを真似ていけばいいと思います。事前にアンケートを取って1時間以上かけてダラダラと議論することについて、どんな意味があるのか、来年度末にどう変わっているのかなど着地点が見えません。市はどう考えていますか。
- (佐藤委員) 私たちはアンケートで意見を出していますが、これを基に市はどういう意見でしょうか。
- (山口委員) 市が案を提示してそれを基に議論するべきだと思います。
- (森田委員) 昨年お魚センターうみがめでイベントを行いました。赤字になったことから今後は内容を精査していくことになっています。市には、市内事業者に寄り添えるようにしてほしいと思います。また、津屋崎のイベントを福間の方が知らない状況があります。市内の方に知られていない状況がある中で、市外から呼び込むのはまだ違うのではないかと思います。
- (浄見委員) DMOでは、福津のまつりを一元化しようという動きがあり、年間を通じたイカや井ぶりなどのまつりをやってはどうかということを検討しています。この場では、このような情報の共有を行ったり、一緒に何ができるか話し合ったりすることができたらと思います。そうすることで、福津の観光情報の一本化ができ、DMOと観光協会のどちらを選べば分からないという状況もなくなるのではないかと思います。
- (永松会長) 資料2については、皆様から事前にいただいた意見をまとめたものとなっています。これに対する議論に時間をかけるのではなく、この協議会の方向性を決めて今後につなげていく方がより生産的ではないかということですね。
- (佐藤委員) アンケートを集約した結果として、事務局から何らかの素案を提示していただき、それに対して委員で議論していく形にしないと前に進まないと思います。そうしなければ、DMOと観光協会の役割に関する議論になってしまい、協議会として着地できないのではないかと思います。
- (事務局) 事務局より、補足します。第1回の観光産業活性化協議会にて委員の皆様から、今後の観光事業を行う上で、情報の共有と発

信に問題があるというご提起をいただきました。本協議会は市の附属機関という位置づけとなっているため、皆様のご意見は諮問・答申という形で市にいただき、その後、市が事業としての実施を検討していくこととなります。今回、限られた回数の中で議論を進めるために事前アンケートを実施しており、市としての方向性を決めるためにもご意見を基に議論を深めていただきたいと思います。

(永松会長) まだ説明していない資料について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 「資料2 事前アンケート(集計結果)」 「資料3 福津市の観光情報の発信に関する主なウェブサイト及びSNS」に基づき説明

(永松会長) 皆様がお忙しい中、貴重な時間を割いてご出席いただいておりますが、本日のような全体会合だけでなく、次回を待たず少人数などでもまとめたり共有したりしていただけたらいいなと思います。それでは、協議会の回数も限られているため、協議会として課題とあるべき姿、それを解決するための手段などを整理したいと思います。まず、課題には、お客様にとって「分かりやすい情報」「辿り着きやすい情報」「新鮮な情報」という要素があることが分かりました。

(浄見委員) それはどこでも同じだと思います。この協議会は、情報の一元化ができるようになったため、新しい組織を作り、その組織の中で福津のまつりを作ることが業績だと思います。

(永松会長) 今年度の第1回目にて私たちが2年かけて取り組んでいこうと決めたメインテーマが、「情報の共有」と「情報の発信」でした。お客様のために私たちが共有をし、分かりやすく発信していくためには、どういったことを行っていくべきなのかを協議するためのものとして、アンケートを行ったことと思います。浄見委員のご意見にある成果は、情報の共有や発信とは別のところで動いている成果かと思っています。本協議会でも、成果につながるように、情報の共有や発信について取り組むことについてまとめていきたいと思っています。既に皆様からご意見をいただいておりますが、情報の一元化を進めるためにどのように情報のやり取りをしていけばいいのか、次回に向けて整理していきたいと思っています。多くの回答をいただいた一元化や事業者間の活発なやり取りについて、どのようにすればよいかご意見をいただき、次回以降に実現できる形を議論できればと思います。最後に、皆様からご意見をいただけますでしょうか。

(山口委員) 情報の一元化としてホームページを一本化することが必要だと思います。それに伴い、担当者を決める必要がありますが、現在はDMOと観光協会の2つがあるので、窓口を一本化しないといけないと思います。市がメリット・デメリットを踏まえてどちらか決め、次回で審議するのがいいと思います。

(藤田委員) デザイン会社をしていますが、福津のいいところを知ってもらうため、福津を盛り上げるために掲載料不要のフリーペーパーとして、「fukufukumap」を発行し始めました。発刊して約10年が経ち、現在は印刷代として協賛料をいただいておりますが、

行政と違い民間の業者であるため載せたい情報を掲載でき、テレビ局から問い合わせが来るほど浸透してきています。イベント情報などは市やDMO、観光協会などに教えていただいています。紙媒体を使用して周知を行う場合には、「fukufukumap」をぜひ活用して欲しいと思います。

(森田委員)

今後もいい話ができればと思います。

(浄見委員)

情報を一元化するために、リンクを貼るのか、ホームページの一元化をするのか、別のホームページを作るのかなどについて、方向性を皆様と話し合っていければいいなと思います。

(佐藤委員)

委員として具体的に団体名などを発言できる立場ではないと思いますが、今回見えてきた情報の一元化や情報のやり取りについて議論していくのはいいと思います。

(増田委員)

観光協会かDMOのどちらかに情報を一元化することは、実際には難しいことだと思います。情報は一か所にまとまっていた方が良くと思いますが、どこかの団体が行うには負担が大きいので、一旦白紙の状態から新たにホームページなどを作るのが一番良いと思います。そこにリンクを貼り、詳細ページへ誘導すれば良いと思います。

(永松会長)

今回の資料にホームページなどの情報がまとめてありますので、私もいくつか拝見しました。追加でURLを記載いただき、それぞれPDFで共有されているので、皆様もぜひご確認いただければと思います。

今回のご意見をまとめると、情報が一元化され、1つのホームページだけよりもリンクを貼ってあった方がお客様が辿り着きやすいということになります。協議会の後、その方法でよいのかを検証した上で、どうすれば一元化を進められるのかについて私を含め事務局にも確認いただき、案として形にしたいと思っています。より多くのお客様に福津市に来てもらうため、お客様が辿り着きやすい情報を作り、私たちがより情報を共有をするために、次回は事務局から提案されたその案を基に、議論を深めていきたいと思っています。そして、情報の共有と発信についての本協議会の成果を出していきたいと思っていますので、皆様のご協力をお願いします。皆様、よろしいでしょうか。

(全委員)

(異議なし)

(永松会長)

この度も、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

#### 4. その他

次回は他自治体の状況を参考にした上で、ふくつ観光協会やひかりのみちDMO福津と連携して本市の可能性を模索しながら事務局から案としてご提示できるようにしたい。

#### 4. 閉会